

報告日 令和7年7月7日

報告回次 1日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	日野町役場			代表者名	町長 埴田淳一
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画政策課	連絡先電話番号	0859-72-0332
担当者役職	副主幹	担当者氏名	伊田達彦	連絡先E-mail	
住所	689-4503 鳥取県日野町根雨101番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	日野町社会福祉型テレワーク事業		
概要	長野県立科町や塩尻市などが実施している「社会福祉型テレワーク事業」の導入を検討している。事業実施に向けた具体的な支援をアドバイザーに求めたい。				
支援を求める分野	テレワーク				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	66	令和7年7月4日	支援・助言	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年8月4日	支援・助言(実地)	9時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	420

2-2.

派遣場所	会場名	旧黒坂小学校	最寄駅	JR黒坂駅
	所在地	鳥取県日野郡日野町黒坂1560-1	最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	上前 知洋
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	テレワーク事業の推進にあたり、町議員を始め町民の「テレワーク」に関する理解が十分ではない点が課題の一つであった。町民の理解や意識の向上を図るためセミナー開催を提案してもらい、その具体的なセミナー概要を作成してもらったことと、アドバイザーの人脈を駆使したゲストの招致まで尽力してもらえたこととなった。
アドバイザーへの要望事項	第2回アドバイザー派遣と併せてテレワークプレセミナーを開催する予定としている。参加者は本町のワーカー候補の子育て世代も想定しており、参加者の心に響く立科町のワーカーの声などを紹介してもらいたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	4人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	3		1	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	当日は、島根県でテレワーク事業を展開している企業にもオンラインで参加してもらい意見交換を行った。これからテレワークを開始するにあたりとても参考になる事例を多く聞かせてもらった分、当初予定していたセミナーの内容協議、事業品財源確保のための補助申請内容の協議を十分に行うことができなくなった。次回は時間配分を計算して時間内に協議事項が完了するよう進めたい。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・テレワークセミナーにてアドバイザーが実施する立科町先進事例を紹介してもらうことで、町民のテレワークに関する意識醸成を図り、次年度から開始するテレワーク事業のワーカー候補者を4名確保する。 ・上記セミナーに町議会議員に参加してもらい、本事業の必要性を理解してもらい、今年度の事前準備に係る予算並びに次年度の試行実施に係る予算の確保を目指す。 ・本事業の財源として県補助金の活用を検討。アドバイザーと共に補助金活用の3か年計画を作成し、R7事前準備、R8試行、R9見えてきた課題の解決に係る予算の確保を目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・9月補正でR7事前準備に係る予算の確保を目指しており、議会前に議員を始めとする町民（ワーカー候補者）にテレワークの必要性を共有するためのプレセミナーを開催する事業計画作成に関する支援を受けた。 ・本事業をR7～R9の3か年計画で進めるにあたり、その財源となる県補助金の事業計画の作成に関して支援を受けた。 ・予算確保後に、アドバイザーの人脈を駆使したゲストを招きキックオフセミナーも開催を予定しており、当該セミナーの事業計画作成に関する支援も受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今年度どのような準備を行えばよいか分からなかったところ、町民の意識醸成を図るセミナー開催から、本事業を実施するための財源確保の補助金申請のところまで支援を受け、大まかな事業計画を作成することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
	セミナー及び補助金申請に係る事業計画を大まかに策定できた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	時間がなく、セミナー実施時期、補助金の支出予算明細など詳細まで詰めることが出来なかった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	事業実施に係るニーズは、担当者(町職員)が町民(ワーカー候補者)10名程度に事前ヒアリングを行ったため、アンケート調査は行っていない。ヒアリングを行った町民からは、テレワークがあれば利用したい旨の回答を受けた。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
	9月補正で事前準備に係る予算を確保し、ディレクターの確保及び育成及び町民を対象にしたセミナーを開き、町民の意識醸成を図る。R8の予算も確保し、試行的な事業運営を行う。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	R9年度に10名のワーカーを雇用。役場業務のアウトソーシングを中心に企業からの仕事も受注して、ワーカー1人当たり週10時間程度の稼働時間を目指す。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

